

## 精密測定技術振興財団 品質工学賞 2019年度 贈賞式

2019年6月28日（金）午後4時

タワーホール船堀 大ホール

精密測定技術振興財団 品質工学賞「論文賞」「発表賞」の表彰式が、執り行われました。

当財団の精密測定技術に関する表彰事業の一環として、実施いたしております。

当日は、理事長代理で大園成夫評議員が出席し、授与いたしました。

**論文賞：**前年度（2018年度）に品質工学会の学会誌に掲載された論文を対象として、その成果が優秀と認められるものに対し、品質工学の研究を激励し、技術の発展と社会の充実することを目的として贈呈されます。

金賞：フレームハード品質の安定化

銀賞1：経営の立場で観る品質工学推進の課題－アンケートの誤庄による分析

銀賞2：MTシステムによる適正レセプトの評価－単位空間メンバーが1つの場合の評価法

**発表賞：**当該年度の大会発表を対象にして審査され、贈呈されます。

金賞：多様な地震波に対するロバストな木造建築の耐震設計法の研究

銀賞1：バンパー金型の多層盛り溶接条件最適化

銀賞2：単位空間を動的に生成することによる、機械設備・プラント異常診断の精度向上

銀賞3：マガキの産卵誘発手法の検討



品質工学の本質は計測で、精密そのものであり、品質工学を発展させることが我が国のものづくりの発展に絶対的に必要であることを確信しております。